

平和の尊さ 心に刻む80年

市長 星野光弘

昭和100年という節目の年、そして戦後80年を迎える今、改めて戦争の犠牲になられた全ての方々に哀悼の誠を捧げ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

80年前のあの日、私たちの国は未曾有の戦禍を経て、平和という新たな道を歩み始めました。そして、今日の平和が、先人たちのためまぬ努力によって築かれてきたことを、今一度心に刻み込むとともに、多くの尊い命が奪われたその歴史を、私たちは決して忘れてはなりません。昭和という時代は、未曾有の戦争と復興、そして高度経済成長を経て、今日の日本社会の礎を築きました。本市においても、市民一人ひとりの努力と地域社会全体の協力により、戦後の混乱と困難を乗り越え、今日の平和と発展を築き上げてきました。そして、今では多くの世代が共に支え合い、安心して暮らせるまちとして成長を遂げてまいりました。

今日の世界情勢を見渡せば、今なお戦争や対立が続く、核兵器の脅威も依然として存在しています。今こそ、世界で唯一の被爆国である日本で暮らす私たちが、「平和の心」を決して忘れず、対話と協調の精神に基づき、地域そして世界

に向けて、平和な社会の尊さと大切さを強く発信していくことが必要です。

私は非核平和都市宣言自治体の首長として、本年8月9日に長崎県で行われる平和祈念式典に出席を予定しており、戦禍により尊い命を奪われた方々のご冥福と「核兵器のない世界」そして「恒久平和の実現」を祈念してまいります。

本市では、「富士見市非核平和都市宣言」の理念と平和の大切さを広く市民に伝えるため、ピースフェスティバルをはじめとした平和事業を実施しているほか、広島・長崎の原子爆弾投下日と終戦記念日には、1分間の黙とうを呼びかけております。

終戦から長い年月が経過し、戦争の体験を語り継ぐ世代が少なくなってきた現代において、戦争の記憶を風化させず、語り継いでいくことの重要性は増しています。

市民の皆様におかれましては、戦後80年という節目にあたり、改めて平和の尊さを心に刻み、それを次世代へ継承していくことの重要性について深く見つめ直し、いただきたいと存じます。

黙とうを捧げましょう

市では、原子爆弾や第2次世界大戦で犠牲になられた方々のご冥福と、核兵器をなくし平和な世界が実現することを願い、次の日時に防災行政無線を通じ、市民の皆さんに1分間の黙とうのご協力をお願いしています。

【広島市原子爆弾投下日】8月6日午前8時15分

【長崎市原子爆弾投下日】8月9日午前11時2分

【終戦記念日】8月15日正午

富士見市非核平和都市宣言

私たちは 何よりも家庭の平和を願い 世界の平和を願っています
しかし 地球をおおっている核兵器は 世界の平和と安全を脅かしています
私たちは 広島・長崎の過ちを 再び繰り返させてはなりません
私たちは 平和憲法を大切にし 世界中の人びとと手をつなぎ
核をもつすべての国に「今すぐ核兵器を捨てよ」と訴えます
この市民の声と願いを
非核平和都市 富士見市の宣言とする

1987年7月19日

広島原子爆弾の被害からよみがえった木の種から育った青桐の木、平和の鐘▲

一次の世代へつなぐ

平和への思い

西中学校 3学年社会科 平和祈念講演会

戦後80年 戦争体験を語る

7月2日、西中学校の平和祈念講演会で、戦争体験を語る萩原さん。

参加した3年生の生徒からは、「貴重な話を聴くことができた。改めて戦争の怖さを実感しました」、「この話を忘れず二度と戦争が起こらないよう後の世代に伝え続けていきたい」といった感想が寄せられました。

☎鶴瀬公民館 ☎049-251-1140



はぎわら
萩原 弘 さん(91歳・鶴馬在住)

1934年(昭和9年)生まれで、富士見市出身(当時は鶴瀬村)の萩原さんは、11歳のときに終戦を迎えました。

現在は、市内の学校に訪問し、戦時中の生活や学校、戦争の様子を『私の少年時代』として萩原さん自身が描いたイラストを使って、戦争の惨禍が二度と繰り返されることのないよう、児童や生徒たちに戦争体験を語り続けています。

◀萩原さんが描いたイラスト(市内に爆弾が投下された時の様子)

ピースフェスティバル2025関連企画

共催 ピースフェスティバル実行委員会、市、市教育委員会 ☎鶴瀬公民館 ☎049-251-1140

平和展

とき ①8月1日(金)～15日(金)②8月16日(土)～31日(日)

※①初日は午後2時から、最終日は正午まで

場所 ①中央図書館②難波田城資料館

小学6年生による

ピースカード展示

とき 8月1日(金)～9月1日(月)

場所 各公民館・交流センター、針ヶ谷コミュニティセンター

平和の鐘を鳴らそう

終戦記念日に鐘を鳴らし平和を祈念します。

とき 8月15日(金)午前11時40分～午後0時15分 ※集合/午前11時30分

場所 市役所前ロータリー



難波田城資料館の取り組み

令和7年に戦後80年を迎えることから、市内に遺る戦争関連の実物資料などを収集し、市に所縁のある方の戦争体験を伝え残すため、令和8年春季企画展「富士見市に刻まれた戦争～戦後80年の記憶～」(令和8年3月14日～6月14日)を開催します。

企画展は、資料調査を市民の皆さんと共に行い、先の大戦を振り返る機会になるよう準備を進めています。☎難波田城資料館 ☎049-253-4664

▲常設展示室に展示している資料